

金融日语

● 王健宜 / 主 编
● 李 莉 / 副主编
● 爱甲修一 / 审 校

南开大学出版社

金融日语

主 编 王健宜
副主编 李 莉
审 校 爱甲修一

南开大学出版社

天 津

图书在版编目(CIP)数据

金融日语 / 王健宜主编. —天津: 南开大学出版社,
2011. 7

ISBN 978-7-310-03736-0

I. ①金… II. ①王… III. ①金融—日语 IV.
①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 128926 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人:肖占鹏

地址:天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542 邮购部电话:(022)23502200

*

天津泰宇印务有限公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2011 年 7 月第 1 版 2011 年 7 月第 1 次印刷

880×1230 毫米 32 开本 10 印张 287 千字

定价:20.00 元

如遇图书印装质量问题,请与本社营销部联系调换,电话:(022)23507125

前 言

随着金融国际化步伐的加快，普及一定的金融知识成为了当今时代的要求，成为了现代人不可或缺的常识素养。因而，我们为日语学习者精心编写了这本《金融日语》。

本书由 28 课及 7 篇阅读材料构成。每课由本文、关联对话、生词、注解、练习、小知识 6 部分组成。阅读材料分为阅读文章及生词两部分。在附录中加入金融新闻 20 篇、金融专业用语等项目，用来加强、巩固金融领域知识。与同类教材相比，本书有以下几个特点：

一、内容力求最新

当今，金融业瞬息万变，即便是一年前刚出版的原版著作，其中的数据也可能过时。本书在编写过程中，始终追求一个“新”字。力求内容数据最新，对参考文献中已经过时的内容进行了认真的修改、订正。

二、关联性强

课与课之间的内容相互关联、融合，能帮助读者建立一个系统的金融知识体系，每课中的正文与对话围绕相同话题展开，能使读者从文章、会话两方面深入了解相关金融方面知识。

三、金融知识与日语学习并重

本书设计编写之初，就将“金融专业知识和日语水平双提高”作为目标，使读者“一箭双雕”，在学习金融专业知识的同时，还可提高日语的整体实力。本书所选编的金融知识涵盖面广，包括：银行、金融政策、外汇、股票、国债、保险等方方面面；书中敬体、口语体、文章体交叉使用，能够使读者的阅读、写作、会话能力全面提高。

本书读者对象为大学日语专业高年级本科生、研究生以及具有中级以上日语水平的日语学习者，也可作为教授金融日语、日本经济概况等课程的教师和研究人员的参考书。

在本书的编写过程中，主编王健宜负责整体策划和全书统稿，副主编天津理工大学李莉负责文章筛选和全书编写，陈潇和李悦佳各承担3万字以上的文字录入及部分图表制作、单词注释等工作，天津理工大学爱甲修一、久佐木誉史和日本友人斋藤正、猪又幸枝对全书进行了修正校对，并提出了许多宝贵意见。南开大学出版社的编辑也提出了许多中肯建议。在此对参与本书编写的所有人员一并表示衷心的感谢。

由于时间仓促及能力有限，本书纰漏一定不少，敬请读者批评指正。

编者

二〇一一年元月

目 次

第一課	デフレとはなにか	1
第二課	景気が悪いとはどういうことか	10
第三課	不良債権の中身	18
第四課	経済成長はどのようにして確認するか	26
読解資料 1	金融・資本市場と金融ルール	34
第五課	どんどん変わる銀行の名前	41
第六課	金利とはなにか	50
第七課	消費者金融の栄枯盛衰	58
第八課	金融のしくみ	67
読解資料 2	電子マネー	75
第九課	生命保険会社はなぜ経営が苦しいのか	78
第十課	銀行はどうして貸し渋りする	86
第十一課	なぜ公的資金を銀行に使うのか	94
第十二課	日本銀行に預金はできるのか	102
読解資料 3	国際収支の概念としくみ	110
第十三課	日本銀行と政府の関係はどうなっている	115
第十四課	日本銀行の量的緩和の仕組み	123
第十五課	インフレ・ターゲットってなに	131
第十六課	国債とはなにか	139
読解資料 4	金融政策にはどんなものがあるのか	147
第十七課	個人国債はお買い得か	151
第十八課	バブルとはなんだったのか	160
第十九課	株とはどんなものか	169
第二十課	株式市場のしくみはどうなっている	178

読解資料 5	日本財政の特色	187
第二十一課	日経平均株価と TOPIX	191
第二十二課	株式持ち合いとはどういうこと	199
第二十三課	円高、円安がやっぱりわからない	208
第二十四課	外国為替市場はどこにある	216
読解資料 6	経理と簿記	225
第二十五課	ドルがなぜ基準になるか	230
第二十六課	ユーロはどんなもの	239
第二十七課	そもそもお金とはなんだろう	249
第二十八課	日本の税制	258
読解資料 7	会計	267
付録		274
主な参考文献		313

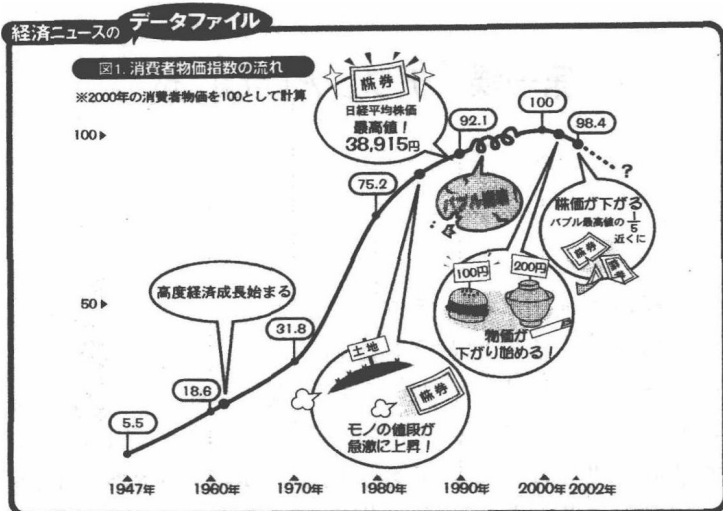
第一課 デフレとはなにか

本文

最近の経済ニュースは、デフレのことばかりです。日本経済がデフレから脱出するにはどうしたらいいか、経済の専門家の間でも意見が分かれています。ところが、過去に出た経済学の専門書を開いても、デフレについてはほとんどふれていません。第二次世界大戦後の世界経済は、インフレとどう闘うかが主な問題であって、デフレに苦しむことなど想像できなかったからです。そのデフレに、日本は直面しています。

さて、そもそもインフレ、デフレとはどのようなモノなのでしょう。

「デフレ」「インフレ」いずれも和製英語の短縮形です。インフレとはモノの値段が上がり続けることです。インフレーションを略してインフレと呼ばれています。インフレにより、通貨の価値は低くなります。デフレとは、正式には「デフレーション」のことで、「縮んでいく」という意味です。インフレとは反対にモノやサービスなどで広範に需要が供給を下回り、物価が下落している状態。つまり、モノの値段がずっと下がり続けている状態ということです。日本政府の定義によれば、デフレとは「持続的な物価の下落」ということになります。バブル崩壊後の日本がそれにあたります。日本政府は2001年4月に、日本経済は戦後初めて「緩やかなデフレにある」と認定しています。



確かに、日本では身の回りの商品の値段は、このところどんどん安くなっています。戦後の日本は、物価の値上がりに悩まされてきただけに、物価の下落は、当初みんなに歓迎されました。しかし、過ぎたるは及ばざるがごとし。行き過ぎは困るのです。商品の値段がどんどん下がっていくと、製造メーカーや商店としては、自分のところも安くしないと商品が売れない、ということになります。値段を安くすれば、利益は減少します。値段を下げてもやっていけるようにするには、経費を切り詰めなくてはなりません。製造メーカーは、取引先の部品メーカーに、「値段を下げろ」と交渉し、仕入れ価格を下げさせます。社員の給料を下げたり、ボーナスを減らしたり、という対策をとります。部品メーカーも納入価格を引き下げられたら、社員の給料を下げる羽目になります。こうして、いろいろな会社の給料が下がっていきます。

みんなの給料が下がれば、新たに商品を買う意欲が低下します。物価がどんどん下がっているのだから、「もっと値段が下がってから買い物しよう」という人も増えます。商品がますます売れなくなります。こんな悪循環が続いているのです。この様子を「デフ

レ・スパイラル」と呼びます。「スパイラル」とは、螺旋階段のこと。下に向かって降りていく螺旋階段を考えてください。デフレ経済では、みんなが螺旋階段を下に向かって降りていく、いや、落ちていくことになるのです。

民間企業の給料が下がると、公務員にも影響します。公務員給与は、民間準拠。つまり、民間の給料が下がれば、1年遅れて公務員の給料も下がります。長野県職員の給料引き下げが大きなニュースになりました。下がるのは公務員給与だけではありません。年金の支給額も下がり始めました。

デフレが進むと、給料が下がります。もし住宅ローンを抱えていると、毎月の返済額は変わりませんから、給料に占める返済額の割合が高くなっていきます。ローンの返済が家計をさらに圧迫することになるのです。

経済全体に悪影響があるデフレ、ここからどう脱出できるか、というのが、日本経済の最大の課題です。

関連対談

2010年の世界経済はアンバランスの是正が課題

池上：2009年のキーワードは「チェンジ」。世界も日本も大きな変化があった年でした。2010年を迎えて、国際社会と世界経済の流れをどうぞ覧になっていますか。

内田：国際社会でいえば、やはり米国でオバマ政権が誕生し、「核廃絶をめざす責任がある」と明言したことが世界に大きなインパクトを与えました。オバマ大統領のノーベル平和賞授賞式の演説には批判もありますが、彼は率直に、米国として必要な戦争と必要でない戦争があるという立場を表明したうえで、国際社会と協調していく姿勢を示しました。このことは非常に良かったと思いますし、米国が国際協調の姿勢で臨んでいることに、個人的にほっとしています。

池上：米国は地球温暖化対策についても、不十分とはいえ、取り組む姿勢を見せています。

内田：そのとおりです。オバマ大統領は中国の胡錦濤主席ともフランクな話し合いをしました。米国と中国は価値観の違う国ですから、お互い胸のうちにはいろいろあると思いますが、とにかく協調姿勢を打ち出したのは大きい。欧州との関係も、前政権時代はギクシャクしていたのが大きく変わりました。それも国際社会全体から見れば望ましい方向だと思います。

池上：ただし、経済については、回復傾向といわれながらも、まだ心配です。

内田：世界経済については、希望半分、不安半分というのが正直なところですよ。2008年9月以降、崖から真逆さまに転げ落ちるように突入した世界同時不況に対して、各国政府・中央銀行が、あらゆる手段で対策を講じて何とか最悪期を脱出したというのが現状です。しかし、まだまだ安心はできない状況ですから、ここから抜け出す出口戦略を見つけなければなりません。世界中のエコノミストは異口同音に、「大きなアンバランスを何とかしなければならぬ」と言っています。

池上：国際収支の不均衡、いわゆるグローバルアンバランスですね。たしかに、今回の金融危機においても、アジア・中東など經常収支黒字国の資金が米国に大量に流れ込んだことが引き金になったという見方があります。このアンバランスによる具体的な問題としては何がありますか。

内田：雇用と所得です。まず、米国の失業率は2009年10、11月と続けて10%を超えていますし、米国の失業者は1,500万人を超え、世界同時不況になってから700万人以上が失業したという状態です。EU16カ国の失業率も9.8%です。日本はそれらと比べればましといわれますが、それでも10月で失業率5.1%、完全失業者344万人と、雇用問題は大変深刻です。もう1つの所得の問題も、可処分所得が増えないどころか、減っていて、消費の足を引っ張っています。

池上：日本の民間企業の2009年冬のボーナスは、20年前の水準ま

で落ち込みましたね。

内田：さらに、先ほど述べたように、今回の不況を食い止めるために、各国は多額の財政出動をしました。米国の 2009 会計年度の赤字は 1 兆 4,000 億ドル（約 140 兆円）です。今後さらに景気が悪化した場合、米国政府は財政出動ができませんから、景気の二番底が来る可能性も否定できないでしょう。また、新興国や中東を中心に、膨大なお金が偏って存在している、いわゆる富の偏在もさらなるアンバランスを生んでいます。中国やブラジル、インド、ロシアなどが参加した G20 が開かれるようになりましたが、これら新興国も含めた国際社会全体で、さまざまな不均衡やそれにとまなう問題を是正・解決していく良い知恵が出てくるかどうか。そのあたりを注目しています。

日本がデフレから抜け出す道は不安の払拭と明確な成長戦略

池上：翻って、日本はどうでしょうか。

内田：去年は政権交代があったわけですが、新政権がリーダーシップを発揮して不況の出口を見つけてほしいですね。そもそも、リーマンショック以降の経済不況は他国から降ってきた経済災害みたいなものです。ですから、出口さえ見つけてくれば、日本人はそこに向けて一生懸命動くと思います。

池上：2009 年 11 月には政府が正式にデフレを宣言しました。モノの値段が下がり、収入も減るというデフレスパイラルに落ち込むと、皆が悲観的になり、さらに消費行動が消極化する“デフレ心理”が発生します。けれども、その気分を払拭できるような出来事があれば、お金を使おうと思うかもしれない。こうした人々の気持ちによって左右される部分は、意外と大きいのではないのでしょうか。

内田：はい。そうした転換をもたらすのが政治のリーダーシップなのです。日本経済の方向性を明確化し、成長戦略としてインセンティブを与えられれば、もともとエネルギーとバイタリティに

溢れている日本人ですから、他国よりも早いスピードで回復軌道に乗せられるでしょう。

池上：よくわかります。「この方法なら成長できる」という道筋が見えれば、世の中が相当明るくなる気がします。

内田：そうですね。経済を縮小させるデフレは、成長と真逆の方向に走ることになりますから、早々に戦略を打ち出すことが必要です。

単語

デフレ（デフレーション）：通貨緊縮，物价剧降

インフレ（インフレーション）：通貨膨脹，物价上涨

脱出（だっしゅつ）：逃出，逃脱，逃亡

闘う（たたかう）：战斗，斗争，竞赛

羽目（はめ）：困境，窘境

螺旋（らせん）：螺旋，螺旋状

準拠（じゅんきょ）：[…のとおりに]依照，按照；[よりどころ]根据，依据

是正（ぜせい）：订正，更正，纠正

廃絶（はいぜつ）：断绝后代，废弃

ギクシャク：不圆滑，不灵活，生硬

崖（がけ）：崖，悬崖，绝壁

真っ逆さま（まっさかさま）：头朝下，倒栽葱；完全颠倒

エコノミスト：经济学家

引き金（ひきがね）：扳机，诱因

膨大（ぼうだい）：庞大，膨胀

偏在（へんざい）：偏在，不均匀

翻る（ひるがえる）：飘扬；变，改变

払拭（ふっしょく）：拂拭，肃清，消除

インセンティブ：刺激的；刺激，诱因，动机

バイタリティ：活力，生命力，动力，活动能量

注解

国際収支：ある一定期間に生じた、国際間の経済取引の明細と帳尻を記録したものである。国際取引の受け取りと支払いの勘定の記録であり、いわば、国家の家計簿と思えばよい。国際収支は大きく経常収支と資本収支からなる。国際収支統計として公表されている。

経常収支：一定期間の国際収支のうち、物やサービスの経常取引による収支を表した統計のこと。物の売買の帳尻を示す貿易収支、サービスの売買の帳尻を示す貿易外収支、贈与などの移転収支を合わせたものである。

リーマンショック：2008年9月に米国の名門投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことを、これが世界的な金融危機の引き金となったことに照らして呼ぶ表現である。

練習問題

一、次の基本知識について()の中に適当なものを書きなさい。

1. () とは物価が下がること。そもそも和製英語で、「縮んでいく」という意味です。経済規模が小さくなっていくことです。
2. 物価の下落は、当初みんなに歓迎されました。しかし、過ぎたるは及ばざるがごとし。() は困るのです。
3. 商品のメーカーは、取引先の部品メーカーに、「値段を下げろ」と交渉し、() 価格を下げさせます。
4. 国際社会でいえば、やはり米国でオバマ政権が誕生し、「核廃絶をめざす責任がある」と明言したことが世界に大きな() を与えました。
5. モノの値段が下がり、収入も減るというデフレスパイラルに落ち込むと、皆が悲観的になり、さらに消費行動が消極化する“() ”が発生します。

二、□の中から適当な慣用句を選んで、その記号を（ ）に入れなさい。

- | | | |
|------------|------------|----------|
| A、株が上がる | B、借りて来た猫 | C、計算に入れる |
| D、胡麻を播(す)る | E、割(わり)が悪い | |

1. () 人にへつらって自分の利益を得ようとする。
2. () あらかじめそのことを考慮しておく。
3. () 言動が認められ、評価が高まる。
4. () ふだんと違って、ひどくおとなしくしている様子を表わす言葉。
5. () 収支を考えると損をする方が多い。

三、次の質問に答えなさい。

1. 物価の値下がりは一見するといいいことに思えるが、経済全体を見ると、何が起きているのであろうか。
2. 戦後物価が上がる一方だった日本はデフレがいつ始まったのであろうか。
3. 国際収支のアンバランスによる具体的な問題としては何があるか。
4. デフレスパイラルとは何か。
5. 2010年の世界経済はどうなるか。

豆知識

金融とは「お金の融通」という意味である。現代社会では、家計・企業・政府という3つの部門、そしてそれら各部門内における複数の組織や個人がそれぞれの経済活動を通じて結びついている。そして、その経済活動の裏付けとして「資金」が流れている。資金不足部門と資金余剰部門の金融活動が効率的に行われないと、資金不足部門はその経済活動を縮小せざるを得ず、それは巡りめぐって資金余剰部門の経済活動の縮小にまでつながる。

また、金融は、資金調達方法によって、直接金融と間接金融と

に分類できる。直接金融とは、資金を必要とする企業が株式や債券などを発行して他の企業や個人から資金を集めることである。間接金融とは、銀行などの金融機関からの借り入れによって資金を調達することである。

第二課 景気が悪いとはどういうことか

本文

私たちは普段なにげなく「景気が悪い」という言葉を使っています。でも、「景気が悪い」とは、どんな状態のことなのでしょう。

「景気が悪い」ことを「不況」とも言います。「景気が悪い」とだけ言うと、個人のことも含まれますが、「不況」という表現を使うと、経済全体のことを指します。

経済ニュースを理解するうえで、難しいのが景気の問題です。個人にとっては、給料が上がったり、持っていた株が値上がりしたりすれば「景気がいい」ことになり、ボーナスが減ったり、なくなったりすれば「景気が悪い」ことになります。

会社には、商品の売り上げが上がって利益が増えれば「景気がいい」ということになり、売り上げが落ちて利益が減れば「景気が悪い」ことになります。

これを1つの国で見ますと、国民の収入が増えれば、国に入る所得税も増えます。商品がたくさん売れるようになれば、消費税がたくさん国に入り、国の財布は豊かになります。これは、国として「景気がいい」ことになります。反対に、個人や企業の収入が減れば、国の税収も落ち込み、国の「景気が悪い」ことになります。

つまり、個人の実質的な収入や企業の利益、国の税収が、全体として上向きになれば「景気がいい」と表現し、下向きになれば「景気が悪い」ということになります。

経済全体の好不調、上向き・下向きの流れを表現するのが「景